

TOPPAN HALL

2024/25 SEASON



現代の名歌手がギターと歌う甘美な調べ——

多彩に挑戦を続ける日本の俊英と描き出す、豊かな詩情。

ダウランド Dowland

さわぎ立つ思いよ
Unquiet thoughts

もういちど帰っておいで、やさしい恋人よ
Come again, sweet love doth now invite

優しい森よ
O sweet woods

あふれよ、わが涙
Flow my tears

ブリテン Britten

オペラ《グロリアーナ》Op.53 より
〈エセックス伯の第2リュート歌曲〉
‘The Second Lute Song of the Earl of Essex’
from ‘Gloriana’ Op.53

アレック・ロス Alec Roth

《わがリュートと私》より〈Sometime I Sing〉
‘Sometime I Sing’ from ‘My Lute and I’ (2011)

シューベルト Schubert

水の上で歌う D774
Auf dem Wasser zu singen D774

野ばら D257
Heidenröslein D257

《白鳥の歌》より〈セレナード〉D957-4
‘Ständchen’ aus ‘Schwanengesang’ D957-4

夜曲 D672
Nachtstück D672

春のおもい D686
Frühlingsglaube D686

ブリテン Britten

中国の歌 Op.58
Songs from the Chinese Op.58

スティーヴン・マクネフ Stephen McNeff

《エデン・ロック》より
〈ある男〉〈エデン・ロック〉
‘A Certain Man’ ‘Eden Rock’ from ‘Eden Rock’ (2016)

アレック・ロス Alec Roth

チャイニーズ・ガーデン
Chinese Gardens (1998)

イングランド民謡 English folk songs

スカボロー・フェア (ロス編)
Scarborough Fair (arr. A.Roth)

恋人にリンゴを (ブリテン編)
I will give my love an apple (arr. Britten)

ポニー・アット・モーン (ブリテン編)
Bonny at Morn (arr. Britten)

キジバト (ロス編)
The Turtle Dove (arr. A.Roth)

Mark Padmore

Tenor

マーク・パドモア & 大萩康司

[テノール]

[ギター]

Yasuji Ohagi

guitar

10.16 2024
[水]

19:00開演 トップアンホール
Wednesday, 16 October 2024 19:00 TOPPAN HALL

全席指定 6,500円 / U-25 3,000円
発売: 6月12日 水 [会員: 6月8日 土]

主催: トップアンホール

特別協賛:  清水建設



Mark Padmore

マーク・パドモア [テノール]
大萩康司 [ギター]

Yasuji Ohagi

ホールを中心企画のひとつである〈^{リート}歌曲の森〉の初期を牽引し、軌道に乗せた立役者のひとり、マーク・パドモアが久しぶりにトッパンホールに戻ってくる。前回（2022年）の来日時は内田光子との共演で大きな話題を呼んだが、室内楽ホールでの歌唱は、彼ならではの魅力がいかに発揮される場、どう活かされるかが楽しみだ。しかも今回はギターとの共演、それもリート中心ではなく、パドモアがリートの世界に乗り出す遥か以前から歌い続けていた彼の原点ともいえるダウランドの作品を皮切りに母国イギリスの作品を中心に聴かせるプログラム。彼の持ち味を活かし、最大限に彼の音楽を楽しむには最適な選択とって間違いない。

大萩康司も〈エスポワール シリーズ〉出演等、キャリアの初期からトッパンホールのステージで活躍しホールの特徴を熟知しているギタリストだ。また、クラシックギターの第一人者ながら、リュートやテオルボ、バロックギターなどの研究にも余念がないだけに、今回のパドモアとの初共演に非常に力が入っている。ダウランド作品の解釈など、今後の大萩に大きな影響を与えるのではないだろうか。

プログラム後半はめずらしい作品が並ぶが、《中国の歌》は白居易をはじめとした漢詩（アーサー・ウェイリー英訳）に着目してブリテンが作曲した作品。同じくイギリスの作曲家アレック・ロスの《チャイニーズ・ガーデン》は、蘇州の様々な庭園を題材にした4つの歌曲。加えてイングランド民謡もブリテンとロスが手を加えたものが選ばれ、統一感が図られているところもいかにもパドモアらしいこだわりだ。英国の作品群に挟まれた中でのシューベルト。大萩のギターをバックにひときわ自由なパドモアが聴けそうな予感がある。

トッパンホールWEBチケット www.toppanhall.com
トッパンホールチケットセンター 03-5840-2222
チケットぴあ t.pia.jp [Pコード 269-815] / イープラス eplus.jp
ローソンチケット l-tike.com [Lコード 32830]

会員優待割引およびセット券は、「トッパンホールWEBチケット」「トッパンホールチケットセンター」でお申し込み頂けます。
*U-25券(席の限定有)は、トッパンホールチケットセンターで販売いたします。*未就学児のご入場はお断りいたします。
*託児サービス【要予約・有料】:公演日1週間前までにイベント託児・マザーズ 0120-788-222
[10:00~12:00, 13:00~17:00 (土日祝休み)]へお申し込みください。
※やむをえず、曲目・出演者などに変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。
※開場は開演の30分前となります。

交通のご案内

江戸川橋駅 地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分
飯田橋駅 JR総武線(東口)、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線(B1出口)より徒歩約13分
後楽園駅 地下鉄丸ノ内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分
都営バス [上69] [飯64] [大曲]または「東五軒町」下車徒歩約3分
※地下駐車場をご利用いただけます。(ホールご来場者割引あり)

トッパンホール 〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3 Tel:03-5840-2200 Fax:03-5840-1515
www.toppanhall.com



感動遺産。

本物のステージが魅せる迫力。肌身で感じた実体験は、
多くの人の心に大きく響くに違いありません。

その感動を子どもたち、さらにその先の子どもたちへ遺してゆきたい。
これからも変わる事のない清水建設の想いです。

感動の場を創造し、守り続けることも、
「子どもたちに誇れるしごと」のひとつです。



子どもたちに誇れるしごとを。

SHIMIZU CORPORATION
清水建設